

UFO 8 EMPEROR

最高級、自動車電話受信機能

※ 注意 必ずリセット中に操作して下さい。 UFO及びCBCどちらからでも移行可能です。

+ ⇒ を表示後スキャンします。

スキャンのストップは全てのキーが有効です。

☆ スキャンの種類

——— 通常のスキャン

——— 30CH オートメモリスキャン

——— CHメモリスキャン (記憶がされていない時は通常のスキャン)

メモリスキャン表示 正スキャン 逆スキャン

モニターしながら、使用CHで通話が終わるとピー音が鳴り CHメモリーして再スキャンし、常に新しいメモリーを蓄え、30CH記憶している場合は古いメモリーは消していきます。記憶の確認は0キーでメモリスキャンを止めてから、1、3キーで順々確認できます。

※ 自動メモリー及び手動メモリーにおいても、一度メモリーした所はメモリーしません。

☆ そのCHで固定します

☆ 80 / 158 切り替え

☆ 又は 1CHダウン逆回転、1秒以上押すとスキャン開始

又は 1CHダウン正回転、1秒以上押すとスキャン開始

☆ 受信中に

手動メモリー (ピー音記憶) すでに記憶済み時 表示

メモリー解除 (ピー音で前記憶表示) 表示

☆ 指定モードの設定方法 (指定されたモードだけをスキャン出来ます)

受信中に + 連続動作可能 (指定解除も同動作)

※ 指定モードは通常無線機と電話受信と別々に記憶できます。

指定モードとは UFO-8新機能 ⑧NEW MARIO II 機能に詳しくは 8ページ ⑧ 参照

☆ 受信中に C 受信終了後のオートスキャン、タイマー 0.2秒 ⇄ 2秒 切り替え

※ 地域によっては、受信が困難な場所や制御CHで止まる事もあります。

目次

	ページ	1 番号
スペシャル機能	(4・5)	
HOLDの各機能一覧		
スペシャルの入り方	(11)	①
ノーマルへの戻し方	(11)	②
特殊群番号の設定	(11)	⑤
CHの入れ方	(11)	③
CHメモリーの仕方	(11)	④
待ち受けのセット	(12)	⑨
一分間通話モード	(12)	⑩
HOLDの一般機能	(13)	
全モード待ち受け/全モードスキャン	(13)	②
モードの切り替え	(13)	③
PTTリコール	(13)	⑤
ATIS信号カット	(13)	⑥
群番号解説	(13)	⑦
タイマーカット	(13)	⑧
多群番号一括リコール	(13)	⑨
空きCHサーチ	(14)	⑩
CHメモリースキャン	(14)	⑪
CB、CHメモリー	(14)	⑫
CBロック	(14)	⑬
群番号吸い取り	(14)	⑭
CBC (簡単操作)	(6) (14)	⑮
業務向け拡声器	(9) ⑯	(22) ⑰
接断信号の送受・待ち受け ON/OFF	(23)	⑱
居眠り防止機能	(23)	⑳
UFO-8/CBCディスプレイ ON/OFF	(23)	㉑
リザーブ機能 (30CHメモリー)	(9) ㉒	(21) ㉓
スペシャルサーチ	(21)	㉔
自動車電話受信機能 (30CHメモリー)	(1)	
免許番号に関する機能		
免許番号吸い取り	(15)	①
自局の免許番号表示	(15)	②
相手局の免許番号表示	(15)	③
免許番号を自局に戻す	(15)	④
免許番号を作る	(15)	⑤
免許番号待ち受け	(15)	⑥
♥ U・C・ノ・電・機能 移行方法	(10)	

目次

2

ノーマル機能	送信出力・受信感度の低下	(22)	①
	通話モード切り替え	(22)	②
	80CH ⇄ 158CH切り替え	(22)	③
	ファイバーゲーム	(22)	④
	PA	(22)	⑤
	ストップウォッチ	(22)	⑦
	目覚ましアラーム	(23)	⑧
	動作音の変更 大 小 無	(23)	⑨⑩
HOLDの特殊機能	クロスバンド機能セット、待ち受け ON/OFF	(16)	①
	ベル機能セット、待ち受け ON/OFF	(16)	②
	UFO (デジタル) 機能セット、待ち受け ON/OFF	(16)	③
	スペースシャトル機能セット、待ち受け ON/OFF	(16)	④
	ボイジャー機能セット、待ち受け ON/OFF	(16)	⑤
	アポロ機能セット、待ち受け ON/OFF	(16)	⑥
	クロスバンド通信	(17)	①
	トーンスケルチ通信	(17)	②
	トーンスケルチ・クロスバンド通信	(17)	③
	UFO (デジタル) 通信	(17)	④
	サテライト・クルージング・コピー (転送複写)	(7)	①
HOLDを離れた特殊機能	APPOLLO通信	(7)	⑤
	スペースシャトル通信	(18)	①
	ボイジャー通信	(18)	②
	カプセルQSY	(19)	③
	プライオリティー・リアルタイム プライオリティー機能	(10) ⑮ (19)	④
	PTTON一時PA	(19)	⑤
	群番解除一発モニター機能	(19)	⑥
	数字で今日は機能	(19)	⑦
	バトリオット I・バトリオット II	(8) ⑩ (9)	⑫
	使用CH数表示機能	(7)	④
	バック・トゥ・ザ・フューチャー (CH復帰機能)	(8)	⑩
	ポケットベル機能	(20)	⑧
	5分間無変調防止機能	(20)	⑨
	ノーマル機レスキュー機能	(8)	⑦
	NEW MARIO II 機能	(8)	⑧
	操作ボード&マイクのボタン機能説明	(24)	
♥	SUB モード機能 移行方法	(11)	⑥

HOLDの各機能一覧

HOLD + 1	= 全モード待ち受け/全モードスキャン ON/OFF	(13) ②
HOLD + 2	= モードダウン	(13) ③
HOLD + 3	= スピードスキャン 高速 / 低速	(13) ④
HOLD + 4	= PTTリコール/一分タイマーリコール ON/OFF	(13) ⑤
HOLD + 5	= モードアップ	(13) ③
HOLD + 6	= ATIS信号カット ON/OFF	(13) ⑥
HOLD + 7	= 群番号解読 ON/OFF	(13) ⑦
HOLD + 8	= タイマーカット ON/OFF	(13) ⑧
HOLD + 9	= 多群番号リコール ON/OFF	(13) ⑨
HOLD + 0	= 空きCHサーチ ON/OFF	(14) ⑩
HOLD + C	= メモリスキャン ON/OFF	(14) ⑪
HOLD + MON	= CB, CHメモリー ON	(14) ⑫
HOLD + M	= CBロック ON/OFF	(14) ⑬
HOLD + HOLD + 0~9	= 群番号吸い取り	(14) ⑭
HOLD を5秒以上押し続ける	= UFO-8 ⇔ CBC (簡単操作) 切り替え	(14) ⑮
HOLD + REMOTE	= ノーマル機能 ON	(11) ②
HOLD + HOLD + HOLD	= 免許番号吸い取り	(15) ①
HOLD + HOLD + MON	= 自局の免許番号表示	(15) ②
HOLD + HOLD + CALL	= 相手の免許番号表示	(15) ③
HOLD + HOLD + C	= 免許番号を自局に戻す	(15) ④
HOLD + HOLD + M	= 自動免許番号表示	(7) ③
HOLD + CALL + 1	= 0.2W・RXL ⇔ 5W 切り替え	(22) ①
HOLD + CALL + 2	= 80CH ⇒ 1MIN ⇒ LOCAL 切り替え	(22) ②
HOLD + CALL + 3	= 80CH / 158CH 切り替え	(22) ③

HOLD + CALL + 4	=	フイーバーゲーム	_____	(22) ④
HOLD + CALL + 5	=	PA (拡声器)	_____	(22) ⑤
HOLD + CALL + 6	=	業務向け拡声器	_____	(22) ⑥
HOLD + CALL + 7	=	ストップウォッチ	_____	(22) ⑦
HOLD + CALL + 8	=	目覚ましアラーム	_____	(23) ⑧
HOLD + CALL + 9	=	動作音 大	_____	(23) ⑨
HOLD + CALL + 0	=	動作音 小 無	_____	(23) ⑩
HOLD + CALL + C	=	切断信号送出・受け付け	ON/OFF _____	(23) ⑪
HOLD + CALL + M	=	居眠り防止機能	_____	(23) ⑫
HOLD + CALL + MON	=	UFO/CBCディスプレイ	ON/OFF _____	(23) ⑬
HOLD CALL + HOLD	=	免許番号待ち受け	_____	(15) ⑥
HOLD + SHIFT + C	=	クロスバンド通信	待ち受け ON/OFF _____	(16) ①
HOLD + SHIFT + M	=	ベル機能	待ち受け ON/OFF _____	(16) ②
HOLD + SHIFT + MON	=	UFO (デジタル) 通信	待ち受け ON/OFF _____	(16) ③
HOLD + SHIFT + HOLD	=	スペースシャトル通信	待ち受け ON/OFF _____	(16) ④
HOLD + SHIFT + CALL	=	ポイジャー通信	待ち受け ON/OFF _____	(16) ⑤
HOLD + SHIFT + END	=	アポロ通信	待ち受け ON/OFF _____	(16) ⑥
HOLD + SHIFT + □ + □ (0 ~ 4)	=	クラブバンド通信	_____	(17) ①
HOLD + SHIFT + 5	=	トーンスケルチ通信	_____	(17) ②
HOLD + SHIFT + □ + □ (6 ~ 9)	=	トーンスケルチクロスバンド通信	_____	(17) ③
HOLD + SHIFT + SHIFT	=	UFO (デジタル) 通信	単モード _____	(17) ④
HOLD + SHIFT + REMOTE	=	UFO (デジタル) 通信	ダブルモード _____	(17) ⑤
HOLD + SHIFT + PTT	=	UFO (デジタル) 通信	フォースモード _____	(18) ⑥
HOLD + PTT	=	サテライト・クルージング・コピー機能受信	_____	(7) ①
HOLD + PTT + PTT	=	サテライト・クルージング・コピー機能送信	_____	(7) ①

C B C 取扱説明書

☆ 群番号の入れ方 M + 1 + C + 1 2 3 4 5

メモリー-1に 1 2 3 4 5 の群番号を入れました。同様メモリー 0 ~ 9 まで入ります。

☆ 待ち受けのON、OFFはリセット中 1 ~ 9 を押し左下にランプがつけばOK

☆ 呼び出しは現表示の群番号

☆ モニターをして止まった所で通話OK

☆ チャンネル固定 C + 2 3 + MON 2 3 CHに固定

C + 1 4 4 + MON 1 4 4 CHに固定

☆ HOLD + 2 を押す回数で、モードダウン

HOLD + 5 を押す回数で、モードアップ

☆ HOLD + 8 目覚まし時計 終了はマイクEND

☆ リコールはREMOTEボタンを押す

☆ ノーマル機能への入り方

HOLD + REMOTE

☆ ノーマル機能からCBCへ

HOLD + REMOTE + 80808
5桁の暗証番号 ⇒ C B C 表示

★ CBCからUFO-8へ

HOLD 5秒以上押し続ける = U F O ⇔ C B C


★ CBC ⇔ TELモード

CALL + CALL ⇒ C TEL 表示 END で CBC に

C B 使用

☆ チャンネルセット C + 22 + MON ⇒ 0 22 ロックさせるCHセット

☆ CBメモリー HOLD + MON ⇒ -SET-

☆ CBロック HOLD + M ⇒ CB-ON  マーク点滅

☆ CBロック解除 HOLD + M ⇒ CB-OFF マーク消える

UFO-8 (エンペラー) 新機能

① サテライト、クルージング、コピー (転送複写)

受信側・受信中 ⇒ + 表示 6秒間待ち受け

送信側・受信中 ⇒ (1) + + 表示

自局の全機能を相手局 (無線機) に送出する ☆ 転送複写が終了すると、END表示

(2) + +

自局の全機能と全メモリーを相手局 (無線機) に送出する

※ 転送受信側無線機に異常な電波が入った時にはエラー表示で中止します

UFO-7又 UFO-8は自局全機能、全メモリーを他局に複写することも又その逆も出来ます。UFOを使いこなす人が使い方の解らない人に教えたり、仲間同士で、群番号やCHメモリー、CBロック、待ち受けを揃えたり出来ます。(但し 二重安心ロックと暗証番号は送れません)

② バトリオット (自動閉局)

リセット中 + ON ⇔ OFF ON時 READYランプ 点滅

☆ リセット状態でUFO-7又UFO-8の同一群番号同志 二台以上が電波のつながる管内に入った状態になれば管内の同一群番号全局が自動閉局します。(バトリオット機能ON時に通常の発着呼も出来ます)

注意、単一モード時に、使用して下さい。オールモード (H+1) MARIO (CALL+H) 機能との併用は出来ません。

③ 免許番号自動表示 と 免許番号申請済みか未申請確認

+ +

☆ ATIS信号を受けると、免許番号を三段回に自動表示し → 群番号表示に変わります。

左小窓 □ 点滅 ⇒ 申請された免許番号

左小窓 - 点滅 ⇒ 未申請の免許番号

④ 使用CH数表示

SHIFT 約1.5秒押す → 例 現在 (80CH中 25CH使用中)

☆ リセット中、通話中 (モニター時不可) にSHIFTキーを約1.5秒以上押し続けると、現在使用中のCH数が確認出来ます

⑤ APOLLO機能 (秘話通信)

通話中全局が移動する機能です。送信中に操作して下さい。

(1) APOLLO, I

送信中に

モード1とモード2をランダム (CH) に手動で移動します。

(2) APOLLO, II

送信中に

送信中約10秒でモード1とモード2をランダム (CH) に移動します。

☆ アボロは通常、送受信中にCHが移動するので、受信側は **APPOL** と **モード CH** の交互表示となり
信号を受けたことが一目で解ります。

※ リコール信号は受信中なら立ち上がったモードへ、送信中は一つ前のモードCHにリコールします。

⑥ 5分間無変調防止

送信中に **HOLD** + **C** ON ⇔ OFF 表示一時間 → **CUT_5**

☆ 機能セットして5分後に **≡ ≡ ≡ ≡ ≡** が表示され、受信に変わります。

⑦ ノーマル機レスキュー機能

CALL 約3秒間押す → **-SUB-** + **2**

受信中に切断信号を受けると自動的にリコール信号を送出します、ノーマル機との通話中に有効です。

リセットすると解除されます。

⑧ NEW MARIO II (指定モード機能)

複数のモード(指定可)のモニター及び、そのモードえの一発リコールする機能。

モニター中 **CALL** + **0 ~ 9** を連続で押すと、約2秒後 ビー音(モード記憶)

モニター中 **CALL** + **HOLD** は指定モード機能の一時 セット ⇔ リセット

◆ 機能表示確認 ◆

※ モニター中に、表示している数字が指定モード番号(オレンジ数字)

※ リセット中に、表示している数字が待ち受けランプ(オレンジ数字)

例) 0、2、4とセットすれば、モニタースキャンは 0 → 2 → 4 → 0 とスキャンします。

呼び出し及びリコールは 0、2、4、モードにたいして一回でOK。 連続リコール必要なし。

⑨ 逆モニタースキャン

1キーとSHIFTキー → 1CHダウン、その後1秒以上で入感あるまで逆スキャンします。

3キーとREMOTEキー → 上記の逆です。

モニター中、すべてのキーを押すことによりモニターストップできます。

⑩ バック・トゥ・ザ・フューチャー (CH復旧機能)

全使用CHに戻る機能です。

通話中 **MON** + **M**

プライオリティーフライト、アボロ、カプセルQSY、CHメモリーJP、使用後便利です。

※ 通話中 **MON** 表示 **JP_____** + **MON** でスキャンします。

⑪ リザーブ機能 (30CH)

ON、OFFは 0 キーを約1.5秒押す ⇒ - + 1 キー

表示 r - 第二数字が r ON. OFFは繰り返し動作で r が消える。

上記表示時中、連続動作で 2、3、4、の ON、OFF可能

2 キー r - 2 → スペシャルサーチ
 ※ スペシャルサーチは 機能の一部として、単独使用可

0 キー ⇒ 記憶
7 キー ⇒ 戻し
8 キー ⇒ 呼び出し
9 キー ⇒ 進める

3 キー r - 3 → オートリザーブ

4 キー r - 4 → 全群番号リザーブ

- (1) リザーブ機能の 2、3、4、を入れたままで、リザーブのON、OFFができます。
 - (2) リザーブの操作性が良くなりました。
7、9、キーをチョイ押してメモリーが一つ変項し、1秒以上押すとスキャンしだし、押している間メモリスキャン。
 - (3) リザーブOFF時 0 キーでCH群番号表示. リザーブON時 CALL キーでCH群番号表示
 - (4) リザーブ機能ON又OFF時では 0、7、8、9、キーの機能が変わります。
 - (5) リザーブ機能と自動呼び出しが、同時にセットされているとリザーブが優先します。
- ※ リザーブ機能で詳しくは後ページ参照 (21ページ ⑪)

⑫ バトリオット II (CALL+MON中)

同一群番号のUFO-7又はUFO-8の待ち受け機があるかを確認出来ます。

プレストークしたのち、待ち受けしていれば、共に開局しますが、いなければ - 1 7 1 - 表示、開局しません。

⑬ 縦スキャン

2 又は 5 キーを1秒以上押すとCHは同一でモードの 0 ⇔ 9 をスキャンし、使用CHで止まります

2 と 5 キーで止めて MON キーを押すと再度縦、スキャンします、それ以外のキーで止め MON を押すと通常のスキャンになります。

⑭ 業務的拡声器・CHメモリスキャン・空きCHサーチ

HOLD + CALL + 6 → 業務的拡声器

HOLD + C → CHメモリスキャン

HOLD + 0 → 空きCHサーチ

上記キー入力時、後尾の 6、C、0、を1秒以上押すとリセット又は電源ON、OFFでも、再度同じ機能が働きます
 解除は上記キー入力時、後尾の 6、C、0、をチョイ押して下さい。

⑮ リアルタイム プライオリティー

プライオリティー使用時そのCHでの、動きがそのまま表示されます。

⑯ ノーマルモード

本機には、ノーマルモードがあります、ノーマルの取り扱い説明書を参照下さい。 ロム無し送信は出来ません

特殊機能の変更

(1) ポイジャー 及び スペースシャトルが逆回りします

SHIFT + SHIFT + MON または CALL

(2) ポイジャ (B Y J) が 40CHから80CHに増えました。 SHIFT + HOLD

但し 40CH毎に ECHが入りその時、PTTがONなら連続して80CHを回ります。

(3) 上記2機能は複合的に使用可能です。(BYJを80CHにして逆まわりします)

SHIFT + SHIFT + HOLD

(4) さらに、SUBモードの SUB + 1 をセット後に上記 (1)、(2)、(3)、の機能を複合的に使用可能です。

(5) トーンスケルチ通信、及びトーンスケルチクロスバンド通信の自動発呼

(6) SPS (スペースシャトル秘話通信) の自動発呼

UFO-8 (エンペラー) は四台の無線機内蔵

I UFO機能 ⇒ 現在パーソナル無線中、最多機能

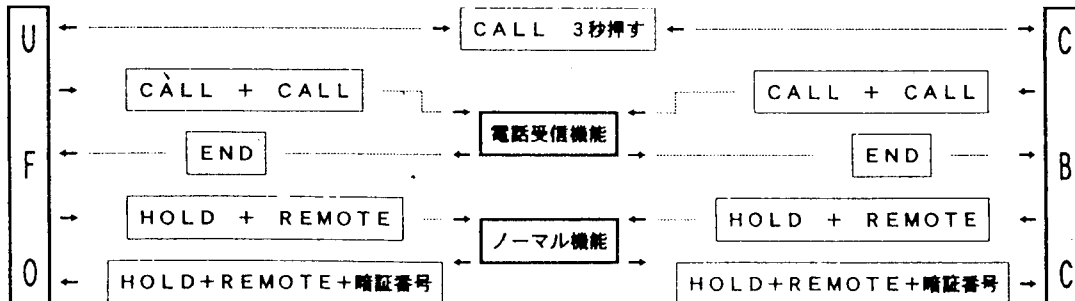
II CBC機能 ⇒ 歴史に残る簡単操作・何階のなんCHにいても HOLD + M で メイン群番、メインCH

III ノーマル機能⇒ 群番号解説、モニターブレイク、ロム無し、CH固定、その他スペシャル機能が無い表準機

IV 電話受信機能⇒ 自動車電話受信、30CHオートメモリー、80/160切り替え、モード指定スキャン、

通話終了後オートスキャンタイマー切り替え可、30CH手動メモリー手動解除可、メモリー一発受信

移行方法



スペシャル&サブモードの入れ方

① スペシャル機能の入れ方

MONキーを押して、CHが表示されれば、すでにスペシャル状態になっています。スペシャル状態でない場合は、下記の操作を行なって下さい。

$\boxed{\text{HOLD}} + \boxed{\text{REMOTE}} + \boxed{\text{暗証番号}} \Rightarrow \boxed{\text{U F O}} \Rightarrow \boxed{8 8 8}$ 点滅点灯します。

② ノーマル機能への戻し方

スペシャル状態を他人に知られたくない場合、下記操作で、ノーマル機能になります。

※ 暗証番号を忘れると、スペシャル機能に戻りません。

$\boxed{\text{HOLD}} + \boxed{\text{REMOTE}} \Rightarrow \boxed{\text{ノーマル機能}}$

CBロックで使用中は HOLD+M を押した後行なって下さい。

③ CHのセット

例 50CHに $\boxed{\text{C}} + \boxed{50} + \boxed{\text{MON}} \Rightarrow \boxed{0 50}$

123CHに $\boxed{\text{C}} + \boxed{123} + \boxed{\text{MON}} \Rightarrow \boxed{0 123}$

④ 群番号・CH・モードを10メモリー出来ます。

例 メモリー2に 12345を入れます

$\boxed{\text{M}} + \boxed{2} + \boxed{\text{C}} + \boxed{12345} \Rightarrow \boxed{2 12345}$

ノーマルモードの25CHにセットします

$\boxed{\text{C}} + \boxed{25} + \boxed{\text{MON}} \Rightarrow \boxed{0 25}$

25CHのモニターの状態になります、その後 CHメモリー2に記憶します

$\boxed{8} + \boxed{2} \Rightarrow \boxed{\text{SET 2}}$

⑤ 特殊群番号んばんの打ち方

0 ~ 9の数字以外の特殊群番号が打てます。

$\boxed{\text{CALL}} \Rightarrow \boxed{\text{A}}$ $\boxed{\text{HOLD}} \Rightarrow \boxed{\text{B}}$ $\boxed{\text{M}} \Rightarrow \boxed{\text{C}}$ $\boxed{\text{マイク END}} \Rightarrow \boxed{\text{D}}$

$\boxed{\text{SHIFT}} \Rightarrow \boxed{\text{E}}$ $\boxed{\text{REMOTE}} \Rightarrow \boxed{\text{F}}$

⑥ SUB モード機能

$\boxed{\text{CALL}}$ を3秒以上押し続けると $\boxed{-\text{SUB}-}$ が表示しますので 3秒以内に次のキーを押して下さい

尚 UFO-8 及び CBC のリセット状態から移行可能です

操作	方法	表示	内容
$\boxed{\text{CALL}}$	$\Rightarrow \boxed{-\text{SUB}-} + \boxed{1}$	$\boxed{02-80}$	UFO、ボイジャー等、ハーフCHを選択していたものを強制的に80CH内を選択します。
$\boxed{\text{CALL}}$	$\Rightarrow \boxed{-\text{SUB}-} + \boxed{2}$	$\boxed{\text{CUT-r}}$	切断信号を受けると自動でリコールをします。
$\boxed{\text{CALL}}$	$\Rightarrow \boxed{-\text{SUB}-} + \boxed{3}$	$\boxed{\text{LC-ON}}$	安心ロック機能 電源OFFのたびに 暗証番号が必要です。

終了時は、リセット \Rightarrow もとの機能 (UFO-8又はCBC) に戻ります。

ただし、安心ロック機能については、再度同じ動作をして機能を解除して下さい。

⑦ メモリーCHを呼び出します。

前記の、CHメモリー2に入れた、25CHを呼び出します。

C + **2** + **MON** ⇒ 表示 **JP 2** → **0 25**

0モードの25CHでモニター状態になります。また

M + **MON** + **2** と押しても同様です。

通話中、送信中のCHメモリー呼び出しは

MON + **2** ⇒ 表示 **JP 2** → **0 25**

⑧ CHメモリーを発呼出来ます

リセット中、前記で入れたCHメモリー2（群番号11111・モード0・CH25）で一発、発呼します。

CALL + **2** ⇒ 表示 **0 25** 0モードの25CHでモニター状態になります。

同様に **CALL** + 0 ~ 9 にて、10個のCHメモリー発呼が可能です。

⑨ 待ち受けセットの仕方。

リセット中に行なって下さい。1 ~ 9のボタンを押すと、画面左下に、1 ~ Eのランプが点灯します。

1~3 ランプ点灯、メモリー1 ~ 3 待ち受け

A は、4とA-COD 待ち受け

B は、5とB-COD 待ち受け

L は、6とL-COD 待ち受け

H は、7とH-COD 待ち受け 消灯数字は、待ち受けなし

P は、8とP-COD 待

E は、全群番号 待ち受け

0 は、待ち受け表示がありません。

最後に表示した群番号（リセット）上記に別なく、待ち受け状態となります。

⑩ 一分間通話機能

送る側も受ける側も一分間しか通話出来ません。一分間自動的にリセットします。業務用通信としても、幅広く使用できます大変便利です。

メモリー0の群番号を同じにします。 ⇒ **M** + **0**、メモリー0の群番号表示させ、発呼します ⇒ OK

例 表示 **---** 5 残り時間、5分間表示して通話します。

※ CHについて

キー操作によるCH設定の場合は、01CH ~ 158CHまで可能です。（モニタースキャン時は、02 ~ 158）

但し、制御CH（01CH）の送信は出来ません。またモードの5、6、7、8、9、は送信出来ません（オプション有）

受信は出来ます。

01CHでの送信 ⇒ **P - O F F** 送信出来ません。

5、6、7、8、9、モードも同様です。（オプション有り販売店に相談下さい）

HOLDの一般受信機能

- ① HOLD を押すと、 のセットと解除の確認が出来ます。



- ② 全モード待ち受け & 全モードスキャン

HOLD + 1 ⇒ C・MEMO 上記画面右上点滅

リセット中、全モードにおいて待ち受けします。相手側は連続リコールが必要（UFO-8 で MARIO II機能では連続リコール必要なし） モニターは全モードスキャンします。

※ NEW MARIO II機能と同時にセットされると、MARIOが優先されます。

- ③ モード切り替え

HOLD + 2 を押す回数で地下バンド入下っていきます。1秒以上押せばスキャンし始めます。

HOLD + 5 2 キーと同様ですが逆方向に回ります。

- ④ スキャンスピードの切り替え

HOLD + 3 ⇒ 3 - - - - 群番号の第一数字の位置

モニタースキャンのスピードが二段階に変えられます。

- ⑤ PTTリコール・タイマーリコール

HOLD + 4 ⇒ - 4 - - - 群番号の第二数字の位置

PTTを離した時に、リコールをします。受信中、一分間おきにリコールをします。

- ⑥ ATIS番号カット

HOLD + 6 ⇒ - - 6 - - 群番号の第三数字の位置

PTTを置った時、離した時のATIS番号をとめてしまいます。但しリコールは出来ます。

- ⑦ 群番号解除

HOLD + 7 ⇒ - - - 7 - 群番号の第四数字の位置

受信時、ATIS番号を受けその群番号を表示させます。

- ⑧ タイマーカット

HOLD + 8 ⇒ T C U T ON

⇒ T U S E OFF → T・LIM 上記画面右中点滅

呼び出しを受けた時タイマー OFF なら連続受信、ONなら30秒後待ち受けにもどる。

- ⑨ 多群番号同時リコール

HOLD + 9 ⇒ - - - - 9 群番号の第五数字の位置

待ち受け指定している群番号をすべてリコールする機能です。

※ NEW MARIO II機能と同時にセットされると、MARIOが優先されます。

⑩ 空きCHサーチ

HOLD + **0** ⇒ **OP - CH** 空きCHサーチON
 ⇒ **US - CH** 再度でOFF

スキャンを空いているCHで止めるようにします。あくまで、機械の空きCHレベルにより判断しますので、速くで使用している場合、又ブレイクタイムの時など、使用CHで止まる事もあります。

※ CHメモリスキャン機能と同時にセットされると、CHメモリスキャンが優先されます。

⑪ CHメモリスキャン

HOLD + **C** ⇒ **C S C N** スキャンON
 ⇒ **CH** CHメモリーがセットされていない時表示

通常のモニタースキャンではなく、CHメモリーのスキャンを行います。UFO-8には10個のメモリーがありますが、CHメモリーについては、ページの項を参照して下さい。モニター中 **MON** キーを押すとスキャンが止まり、マイクの **SHIFT** **REMOTE** キーにて順番に送れます。PTT ON 又は ENDで機能がOFFになります。


※ UFO-8 新機能では OFF しないようにも出来ます。

⑫ CB・CHメモリー

C + **2 3** + **MON** → 23CHをセット後 → **HOLD** + **MON** ⇒ **- S E T -**

CBロックさせる為のセットですので、あらかじめモード、CH、群番号(メモリー1)をセットして下さい。

⑬ CBロック

HOLD + **M** ⇒ **CB - ON** ⇒  マーク点減
 ⇒ **CB - OF** 繰り返し動作 ON ⇔ OFF

CBロックを掛ければ、リコール・PTT・PTT PA、そして解除の **HOLD** + **M** 以外の全ての操作を不能にして、簡単に使用していただく機能です。群番号は、メモリー1に変わります。待ち受け表示 2~E は消灯します。

ロックOFF時にPTTリコール(H+4)・ATISカット(H+6)をセットしておけば、ロック時、自動的にセット

⑭ 群番号吸い取り

HOLD + **HOLD** + **0 ~ 9** ⇒ **C O P Y**

群番号解読の時、表示された群番号を、自分のメモリーにコピーすることが出来ます。コピーしたい群番号が表示されたら、上記の操作を行います。但し、以前に記憶されていたメモリーは解除されます。

⑮ CBC (簡単操作)

HOLD を 5秒以上押し続けると **C B C** ⇔ **U F O** の切り替え

表示パネル、Sメーターの上に、SIGNALと表示時は、CBCです。表示が無い時は UFO-8です。

CBC時、群番号解読、CH固定、モニター割り込み、モード切り替え、一分間通話、目覚まし、PTT PA、CBロックのみで、余分な操作は出来なく簡単に使えます。又 UFO機能で全モード待ち受け・全モードスキャン(H+1)、PTTリコール(H+4)、ATISカット(H+6)、多群番号リコール(H+9)、その他特殊機能をUFO時にセットしておくと、CBC時に使用出来ます。

免許番号に関する機能

① 免許番号吸い取り

HOLO + HOLD 表示が出る C O P Y + HOLD ⇒ _ 1 B C D
 ⇒ _ 2 2 C D
 ⇒ _ A B C D

受信したATIS免許番号を自局のものにしてしまいます。

吸い取った免許番号を右記のように、3回にわけて表示されます。

② 自局の免許番号表示

HOLO + HOLD 表示が出る C O P Y + MON ⇒ _ 1 1 2 D
 ⇒ _ 1 D 4 5
 ⇒ _ 5 6 2 3

現在使用している、自局の免許番号を、表示させます。

③ 相手局の免許番号表示

HOLO + HOLD 表示が出る C O P Y + CALL ⇒ _ 1 B C D
 ⇒ _ 2 2 C D
 ⇒ _ A B C D

受信した、ATIS免許番号を表示させます。

免許番号表示中 左小窓 □ 点滅 ⇒ 申請された免許番号

左小窓 - 点滅 ⇒ 未申請の免許番号

④ 免許番号を自局に戻す

HOLO + HOLD 表示が出る C O P Y + C ⇒ _ 1 1 2 D
 ⇒ _ 1 D 4 5
 ⇒ _ 5 6 2 3

⑤ 免許番号を作る

M + マイクREMOTE ⇒ 画面左表示 _ 下記連続動作をして下さい。

_ ⇒ 1 + 2 + 3 + 4 ⇒ _ 1 2 3 4

_ ⇒ 5 + 6 + 7 + 8 ⇒ _ 5 6 7 8

_ ⇒ 9 + 0 + M + HOLD ⇒ _ 9 0 C B

これで、免許番号は 1234567890CBとなりました、キー入力の際のアルファベットは群番号の場合と同じです。

⑥ 免許番号待ち受け

リセット中自局の免許番号と同じ局にだけ、呼び出しを受け付けます。

HOLD + CALL + HOLD ⇒ A T I S 繰り返して ON ⇄ OFF

群番号に関係なく、ATIS免許番号だけを待ち受けします。あらかじめ、相手の免許番号を吸い取っておくか、記録しておいて免許番号を打ち込んでから使用下さい。なお、免許番号で待ち受けしている時、他の待ち受けは出来ません。

この表示は、モニターやREADY状態から、リセット状態になった時に表示されます。

リセット中は再度の操作 (HOLD+CALL+HOLD) か、MON + END でも解除になります。

⑦ 免許番号自動表示

HOLD + **HOLD** 表示が出る **COPY** + **M** 解除は繰り返し
 ATIS信号を受けると、自動で免許番号と群番号を表示します。(免許番号は3段回に自動表示します)

免許番号表示中 左小窓 □ 点滅 ⇒ 申請された免許番号
 左小窓 - 点滅 ⇒ 未申請の免許番号

HOLDの特殊機能

下記HOLDの特殊機能は、メモリー0の状態では使用出来ません。メモリー1 ~ 9で使用して下さい。

待ち受けランプが点灯している所は発着呼可能です。

HOLD + **SHIFT** ⇒ **A B C U S J** 機能確認表示
 A : アポロ機能 B : ベル機能 C : クロスバンド機能 U : UFO機能 S : スペースシャトル機能
 J : ポイジャー機能 これらの特殊機能のセット及び解除を確認出来ます。 **HOLD+SHIFT**を押した時、
A・B・C・U・S・J、いづれも表示している時、使用可能です。

- ※ 自動クロスバンド・UFO (デジタル) ・スペースシャトル・ポイジャー通信では、立ち上がったモードにリコール出来ます
 例えば、ノーマルモードから立ち上がったなら、地下2Fにいてもノーマルモードに、リコールします。
 特殊機能を使ってノーマルモードで立ち上がり、3Fを使ってそのままリセットに入ってもノーマルモードに戻ります
- ※ ベル・自動クロス・UFO・ポイジャー通信では、CHの混雑から避けるため、81CH ~ 158CHを使用しています。強制的に80CH以内で移動したい時は、SUBモード機能を参照下さい。
- ※ UFO機能にたいして妨害電波を出してる方がみえるので、UFO機能の中に、ミラー機能をつけ加えました
 (逆反射システム) UFO-8に、なんの問題ありません、なぜなら最多機能で最高バージョンだからです、
 貴方は一度、友人の無線機と比べて見て下さい、UFO-8 (《ペンペ》) の良さが、よく解る事でしょう。

① クロスバンド通信機能セット・待ち受け ON/OFF

HOLD + **SHIFT** + **C** ⇒ **C** 再度で OFF

② ベル機能セット・待ち受け ON/OFF

HOLD + **SHIFT** + **M** ⇒ **B** 再度で OFF

③ UFO (デジタル) 通信機能セット・待ち受け ON/OFF

HOLD + **SHIFT** + **MON** ⇒ **U** 再度で OFF

④ スペースシャトル通信機能・待ち受け ON/OFF

HOLD + **SHIFT** + **HOLD** ⇒ **S** 再度で OFF

⑤ ポイジャー通信機能セット・待ち受け ON/OFF

HOLD + **SHIFT** + **CALL** ⇒ **J** 再度で OFF

⑥ APPOLLO通信機能セット・待ち受け ON/OFF

HOLD + **SHIFT** + **END** ⇒ **A** 再度で OFF

特殊機能での使用方法

- ① クロスバンド通信 (秘話通信) (リセット中のみ) (リコール可能)

HOLD + **SHIFT** + **2** + **3** ⇒ **CR - 2 3**

同一CHの交信だが、送信と受信がおたがいに違うモードで通話する機能です。他人にモニターされても片方の音声しか受信されません。HOLD+SHIFTに続く第一数字は送信のモードで、第二数字は受信のモードとなります。

相手側は、自動開局出来ますので、リセットで待ち受けして下さい。上記の操作は送信が地下2F、受信が地下3Fで相手側は、その逆となります。CHは自動でセットされます。この時リコールは、立ち上がったモードにリコールをします。もちろんトーン付き群番号ですので特定の局しか開きません。交信途中で、群番号、CHが変更可能です。

- ② トーンスケルチ通信 (秘話通信) (リコール可能)

HOLD + **SHIFT** + **5** ⇒ **TS - 5**

トーンスケルチとは、群番号とトーンとが一致していなければ、Sメーターが振れていても、相手の音声聞こえない機能。特定の人しか聞こえないので、業務用としても大変便利です。モニター中、通話中にも機能が設定出来ます。設定直後は普通の受信、PTT ON又はトーンSQ信号受信で、トーンスケルチが動作します。トーンスケルチ中 **MON** キーを押すと、普通の受信 (SQ解除) となり、さらに **MON** キーを押すと、トーンスケルチが動作します。最後にセットした群番号が有効で、お互いがCHと群番号を入れ替える事も出来ます。

- ③ トーンスケルチ・クロスバンド通信 (秘話通信) (リコール可能)

HOLD + **SHIFT** + **6** + **9** ⇒ **TS - 6 9**

あらかじめお互いの、CHメモリーを同一しておきます。(ここでは、M6とM9のCHメモリーです)

HOLD+SHIFTに続く第一数字は、送信モードとCH、第二数字は、受信モードとCHを表します。相手側は、リコールされれば、その反対が自動でセットされます。メモリーCHは6~9の間を選んで下さい。途中で群番号変更可能です。この機能は自動的にトーンスケルチが働きます。

- ④ UFO (デジタル) 通信 (秘話通信) (リコール可能)

HOLD + **SHIFT** + **SHIFT** ⇒ **UFO - S**

UFO通信では、相手局のATIS信号を受信後、2度目PTT OFF時に全局がランダムにCH移動します。

ATIS信号を受けない時は4度目のPTT OFF時に移動します。電波が弱い時や障害があった時CHが移動しない時もあります。電波が弱い時はPTTを一回づつでローテーションすればCHは移動しません。移動にはくれた時はリセットし、リコールを待って下さい。この機能中、同一機種でも群番号解除はされないし、トーン付リコールですので、よけいな人をリコールしません。途中で群番号、CH、モードを変更出来ます。

- ※ 濁ったATIS信号を受けた時PTTがON出来ない時があります。MONボタンを押して解除して下さい。
また、全モード待ち受け (HOLD+1) は、入れないで下さい。

- ⑤ UFO通信 ダブルモード (秘話通信) (リコール可能)

HOLD + **SHIFT** + **REMOTE** ⇒ **UFO - D**

④ は同一モードでしたが、この操作は、地下1F ⇄ 地下2Fを移動します。どのモードでリセットしても、一回のリコールで開局します。

⑥ UFO通信 フォースモード (秘話通信) (リコール可能)

HOLD + **SHIFT** + **PTT** ⇒ **U F O - F**

⑤ と同様ですが、モードが地下1F ⇔ 地下4Fを移動します。

◆ ワンポイント

トーンスケルチON時 ⇒ **T** 群番号表示左側に、Tが表示します。

クロスバンド、トーンスケルチ、UFO時にモード及びCHの変更をする時、**C + ? + MON** とCHメモリー呼び出して、変更してみてください。但し、クロス時はモード指定ですので、CH変更だけです。

HOLD を離れた特殊機能

① スペース・シャトル (秘話通信) (リコール可能)

SHIFT + **CALL** ⇒ OK A表示 **A _ _ _ _ _** B表示 **S-P-S** + PTT

まづ、仲間同志CHメモリー1 ~ 9をそろえます、上記 **SHIFT+CALL+PTT** で、各メモリーを約1.5秒間隔で回りだします、この機能が設定出来る仲間全員が参加出来ます。

送信側 ⇒ **SHIFT + CALL + PTT** をONして下さい。

待受側 ⇒ リセット状態にしておいて下さい。

※ 交信途中、リコール可能、仲間を呼び込む事も出来る。参加している相手局が迷った場合、そのままいけば一周目に自動リコールをしてくれます。

SPS通信では、相手局のATIS信号を受信して、メモリスキャンが始まり今どのモード・CHを使用しているか、確認しながら交信出来ます。約1.5秒スキャンなので、他局に通話内容を確認される心配は少ないと思います。

◆ ワンポイント

サテライト・クルージング・コピー機能を使つて、あらかじめ相手局の M1 ~ M9 (モード、CH、群番号) を変えて置いて、スタートするのどうですか？

② бойジャー (秘話通信) (リコール可能) (40CH/200CH ⇔ 80CH/400CH)

(1) **SHIFT** + **MON** ⇒ 40CH A表示 **A _ _ _ _ _** B表示 **B-Y-J**

スペースシャトルと同様の内容ですが、あらかじめCHはメモリーされていますので、呼び出しの群番号をそろえて、おくだけです。(スペースシャトルのCHセット版)

送信側 ⇒ **SHIFT + MON** キーを押して下さい。

待受側 ⇒ リセット状態にしておいて下さい。

※ 交信途中、リコール可能、仲間を呼び込む事も出来る。参加している相手局が迷った場合、そのままいけば一周目に自動リコールをしてくれます。

(2) **SHIFT** + **HOLD** ⇒ 80CH

(1)と同じです。ただし、40CH毎にECHに入りその時、PTT ONなら連続して80CHを回ります。

◆ ワンポイント

SHIFT + **SHIFT** + **MON 又は CALL**

と押すと、**B-Y-J** 及び **S-P-S** が逆回りします。

SHIFT + **SHIFT** + **HOLD** ⇒ бойジャーが 80CHで逆回りします。

③ カプセル QSY機能

現在使用CHより、QSY機能が設定出来る仲間全局を信号を送る側のCHへ移動させる機能です。

☆ QSY 待受側 7キーを押す ⇒ Q-S-Y 再度 7キーで OFF

QSYは相方が交信中に行なう

☆ QSY 送信側 9キーを押す ⇒ Y 1 4 5 (メモリーCH 1、4、5、使用中)

上記の動作で送信側は、メモリーCH 2、3、が空いていることが、確認出来たので 2キーを押すとCHメモリー2でモニター状態となります。真に空きCHかを確認したら、PTT ON中(送信中)リコールをして下さい。仲間全員がCHメモリー2(モード、CH)に一齐に移動してきます。二回目からはマイクのSHIFTキーを押せば上記の表示になります。

☆ QSY 終了後、もう一度QSYをするには、上記の方法で再セットして下さい。中止する時は、待ち受け側は7キー送信側は9キーを押せばOFF出来ます。モニター・CHセットからブレイクインすれば参加出来ます。信号を送る側と受ける側は、入れ替わってもOKです。

④ プライオリティー機能

CHメモリー 0 ~ 9 を現在使用中か空きCHかを監視する機能です。リセット中、通話中に操作して下さい。

リセット中、通話中にマイクのSHIFTキーを押す ⇒ A _ 2 3 _ 5

再度押す ⇒ B _ _ _ 9 _

現在、CHメモリー2、3、5、9、が使用中 1、4、6、7、8、0、が空きCHであることが確認出来ます。

※ UFO-8では、リアルタイム プライオリティー (CH使用状態、そのまま表示)

メモリー 0 については1秒間受信します。

※ プライオリティー フライト

SHIFTを押した後、例えば2を押すとCHメモリー2でモニター状態になります。

⑤ PTT中一時PA

送信中にマイクのSHIFTを押すと拡声器となり、PTTを放すと通話状態に戻ります。

動作中の表示 ⇒ P T T P A 外部拡声器を付けて下さい。

⑥ 群番号解読一発モニター機能

CALL + HOLD

リセット中に解読群番号のCHに、即モニター出来る機能です。目的の群番号が出たら、すばやく押して下さい。

なお、信号がにごった(弱い)時は、2回目のCALLキーを受け付けません。

⑦ 数字で今日は機能

送信中 7キーを押すと 7 3 1 0 1 0 → (群番解読出来る、相手局の無線機に、点滅表示される)

送信中 8キーを押すと 8 8 1 0 1 0 → (群番解読出来る、相手局の無線機に、点滅表示される)

送信中 9キーを押すと → 現在表示中の群番号 → (群番解読出来る、相手局の無線機に、点滅表示される)

⑧ ポケットベル機能

普通の交信と違い ATIS信号のやりとりと考えて下さい。群番号は 1 ~ 9まで入ります、3種類アラーム音が受け付け側に鳴ります。信号を受け付けたら、**B E L ?** (メモリーNO) を表示し、20秒間アラームが鳴り、20秒後ストップウォッチがスタートし、最大99分59秒まで表示します。

※ 群番号をメモリーする再、相手局と群番号を合わせて下さい。又、1MIN・LOCAL時は動作しません。

例) お互いメモリー6を、12345 にします。

I. 送信側

M + **C** + **6** ⇒ **B E L 6** 表示後、自動発呼します。

II. 待受側 リセット中 呼出されたら

3 B E L 6

上記表示左側の3は、アラーム3表示、メモリーCH

は右側に表示、ここでは6です、

III. 送信側 相手局受け付けたら

C A T C H を表示しています、リセットして下さい。

相手局が受け付けなければ、7秒おきに10分間自動リコールします。10分過ぎれば、リセットします。

IV. 待受側 呼び出され、20秒過ぎれば

6 2 1 2 3 0

↓ ↓ ↓
メモリー6で、着信後 21分 23秒 経過と表示

メモリーCH1. 4. 7. は、アラーム 1の音
メモリーCH2. 5. 8. は、アラーム 2の音
メモリーCH3. 6. 9. は、アラーム 3の音

☆☆ 特殊機能は待ち受けランプ表示時のみ待ち受け ☆☆☆

⑨ 5分間無変調防止回路

送信中に **HOLD** + **C** 繰り返しで ON ⇄ OFF

表示 **C U T 5** 1秒間

機能セットして5分後に **≡ ≡ ≡ ≡ ≡** が表示され、受信に変わります。

⑩ ノーマル機レスキュー機能

CALL 約3秒間押す ⇒ **- S U B -** + **2**

受信中に切断信号を受けると自動的にリコール信号を送出します。ノーマル機との通話中に有効です。

リセットすると解除されます。SUBモード機能取説参照

① リザーブ機能 (30CH) ・ スペシャルサーチ 機能

キーを1.5秒以上押すと 表示が出ます リザーブ機能 OFF

表示が出ている時 キーを押せば R表示 リザーブ機能 ON

(1) スペシャルサーチ (リザーブを離れ、単独使用可)

上記表示中 キーでON/OFF 表示中 ON

モニターサーチする際、送信した局と自局の待ち受けメモリーを比較しながら、サーチする機能です。信号の入感するCHでは30秒間ATIS信号を待ちます、信号が受信できなければ次のCHからサーチを続けます。ATIS信号が受信できたら群番号を照合し待ち受けと、違えば次のCHからサーチを続けます。

(2) オートリザーブ

上記表示中 キーでON/OFF 表示中 ON

一致群番号で CH、モードをリザーブメモリーに自動的記憶する機能です。

リザーブメモリーは全部で 30メモリー (0 ~ 29) ありますが、31回目の記憶により 1個目 (0) が書き替えられます。

(3) スペシャルサーチ・リザーブ

上記表示中 + キーでON/OFF 表示中 ON

モニター中、群番号が一致していれば、リザーブメモリーに記憶してサーチを続けます。

(4) 全群番号リザーブ

上記表示中 + キーでON/OFF 表示中 ON

リセット中、全ての群番号、CH、モードがリザーブメモリーに記憶されます。

(5) モニター中の全群番号リザーブ

上記表示中 + + キーでON/OFF 表示中 ON

スペシャルサーチリザーブ・リザーブ中全ての群番号、CH、モードが自動的にリザーブメモリーに記憶されます。

☆ UFO-8では ☆

※ 自動リザーブでは同一モード+同一群番号+同一CHの場合メモリーの重複記憶をさけるため、コンピュータの判断により を表示して記憶しません。

※ オートリザーブ時、群番号解読・タイマーONのセットをしなくても、コンピュータが自動でセットした状態にしてくれます。

※ これらの自動的に記憶された、交信記録を 7キーにより確認できます。

7・9 キーを1秒以上押すとスキャンし、押している間リザーブメモリーのスキャンになります。

【ここからは、ノーマルとの関連機能です】

フロントパネルの灰色どおりに、使用できます。

① 送信出力、受信の低下

- HOLD** + **CALL** + **1** ⇒ 送信出力を0.2W、受信感度を14db 低減します。
0.2W RXL 赤色表示します。
- 再度、**HOLD**+**CALL**+1 ⇒ 送信出力を0.2Wのまま、受信感度を元に戻します。 0.2W表示
- 再度、**HOLD**+**CALL**+1 ⇒ 送信出力、受信感度を元に戻します。 表示なし

② 通話モード切り替え

- HOLD** + **CALL** + **2** ⇒ 表示 80CHモードに設定
- 再度、**HOLD**+**CALL**+2 ⇒ 1MIN 表示 1分通話モードに設定
- 再度、**HOLD**+**CALL**+2 ⇒ LOCAL表示 ローカルモードに設定
- 再度、**HOLD**+**CALL**+2 ⇒ 1MIN、LOCAL表示 一分通話のローカルモード
- 再度、**HOLD**+**CALL**+2 ⇒ 表示なし 158CHに設定

③ 80CH/158CH切り替え

- HOLD** + **CALL** + **3** ⇒ 表示し、80CHに設定
- 再度、**HOLD**+**CALL**+3 ⇒ 表示なし 158CHに設定

④ フィーバーゲーム

- HOLD** + **CALL** + **4** ⇒ **-- 9 9 9 --** 表示
- PTTを押すごとにスタート ⇄ ストップします。 終了はENDキーを押して下さい。

⑤ PA

- HOLD** + **CALL** + **5** ⇒ **P A _ _** 表示
- 外部スピーカーをつなくないと、音が出ません。 終了はENDキーを押して下さい。

⑥ 業務的拡声器

- HOLD** + **CALL** + **6** ⇒ **V U** 点滅表示
- リセット中、上記の操作をしてをくと、着信時、外部スピーカーから、音声が出てきます。
- PTT、を握ると、内部スピーカーに切り換わります。工事現場、運送業等での使用に便利です。
- UFO-8では連続使用も出来ます。

⑦ ストップ ウォッチ

- HOLD** + **CALL** + **7** ⇒ **○ ○ ○ ○ ○**
- PTTは、ストップ ⇄ スタートの操作です。REMOTEは、ラップタイム、クリアー操作です。
- 終了は、ENDキーを押して下さい。

⑧ 目覚ましアラーム

HOLD + CALL + 8 ⇒ [-] と、表示します。

設定時間よりカウントダウンし、時間になると音で知らせます。

例) 1時間30分後に設定し鳴らすには、

C + 0 + 1 + 3 + 0 ⇒ [1 - 3 0]

1分ずつカウントダウンし、タイムアップすると、アラームが15秒間づつ大音と中音の交互に音を変化させていきます。

マイクのENDキー以外のキーを押すと、アラームが一時的に止まり、また、5分後に鳴り始めます。終了は、マイクのENDキーを押して下さい。

⑨ 動作音の変更 大

HOLD + CALL + 9 ⇒ [H]

動作音を大きくします。

⑩ 動作音の変更 小・無

HOLD + CALL + 0 ⇒ [L] + 0 ⇒ [0]
 動作音 小 動作音 無

⑪ 切断信号の送出、受け付け

HOLD + CALL + C ⇒ [C T - O N] 再度でOFF [C T - O F]

従来の切断信号を送出し、待ち受け状態にします。電源を切ると自動でOFFになります。

この機能は、強制リセットではありません。 [前ページ](#) [参照](#)

※ UFO-8 リセット、電源ON/OFFでも再度同じ機能が働くようにも、できます。

⑫ 居眠り防止機能

無変調のまま眠ってしまった時にアラームで、起こしてくれる機能です。

☆ リセット中、モニター中動作させると

HOLD + CALL + M ⇒ [- - -]

時間の設定をしますと、1分きざみに最高99分まで設定可能です。

☆ 送信中 動作させると (PTT ONの状態から)

HOLD + CALL + M ⇒ [O N - 1 0] 再度でOFF

PTT ONの状態では10分すぎるとアラームがなります。

PTT OFFでアラーム音解除出来ますが、PTT ONが10分続くとアラームがなります。

リセット又は電源 OFFで解除出来ます。

⑬ UFO-8 / CBC ディスプレー ON/OFF

HOLD + CALL + MON ⇒ [U C - O N] ディスプレー ON

⇒ [U C - O F] 再度でOFF

電源 ONした状態で UFO-8及びCBC ではディスプレイ表示します。(電源ON/OFF30秒以内無表示)

電源 ONした状態で UFO-8及びCBC のディスプレイ表示をしなくする機能です。

UFO-8 (エンベラー)

★ 操作ボード ★

◆ 1 ~ 9 キーは、リセット中、待ち受けの ON/OFF (ノーマルと同じ)

♥ モニター中・通話中 下記ボード

※ リザーブ時に 7・9 キーを押している間、スキャンします

1CH ダウン 1 1秒以上で 逆スキャン	バンド ダウン 2 1秒以上で 正スキャン	1CH アップ 3 1秒以上で 正スキャン
ハーフ ダウン 4	バンド アップ 5 1秒以上で逆スキャン	ハーフ アップ 6
カプセル Q S Y 7 リザーブ 戻し	メモリー CHセット 8 リザーブ 呼び出し	カプセル パイロット 9 リザーブ 進める
群番 ⇄ CH表示切換 O リザーブ ON/OFF	C	M

◆ マイク キーの

リセット中	⇒	R	⇒	メモリー群番切替
モニター中	⇒	E	⇒	1CH アップ
通話中	⇒	M	⇒	リコール
送信中	⇒	O	⇒	リコール
HOLD	⇒	T	⇒	完全 ノーマル
HOLD+SHIFT中	⇒	E	⇒	UFO 通信復 ON

リセット中	⇒	S	⇒	プライオリティーON ← 1. 5秒以上で使用CH数表
モニター中	⇒	H	⇒	1CH ダウン
通話中	⇒	I	⇒	プライオリティーON ← 1. 5秒以上で使用CH数表
送信中	⇒	F	⇒	PTTPA (拡声器)
HOLD	⇒	T	⇒	SHIFT 各機能
HOLD+SHIFT中	⇒		⇒	UFO 通信単 ON

リセット中	⇒	E	⇒	メモリー群番切替
モニター中	⇒		⇒	リセット
通話中	⇒	N	⇒	リセット
送信中	⇒	D	⇒	アポロ I 機能